

SAT

だより

SKI ASSOCIATION OF TOKYO

臨時新年号

発行 (財)東京都スキー連盟

〒102 千代田区麹町4-5

第6麹町ビル 551号

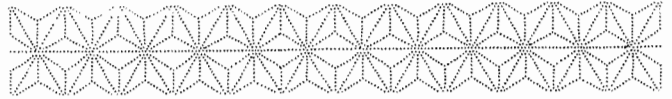
TEL (3262) 2491 (代)

発行日 H9. 1. 20 発行

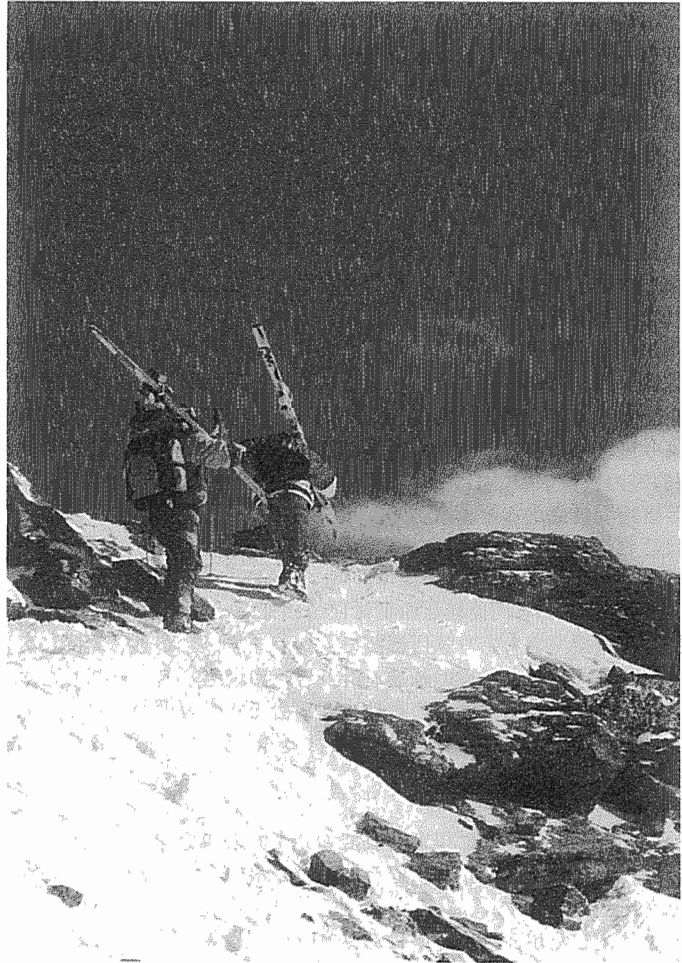
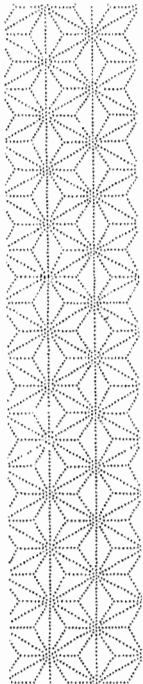
編集 SAT編集委員会

印刷 エース工芸株式会社

'97 新年



おめでとうございます



撮影
渡邊 宏



都連の運営について

代表副会長 井上 衛

10月6日の評議員会で新執行部が誕生しました。今後2年間における代表副会長として、理事会の運営と行事執行について所信を申し上げ、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 最初に理事会の運営について

議事の審議については、建設的な考えかたに基づいて大いに審議をすべきだと考えております。ただし、その前提条件として妥協点を持って、あるいは審議の途中でも

良いから妥協点を設定して審議を進行させるべきだと考えております。そして決定事項については当然のことながら私情を挟むこと無く、全理事が一致団結して守って行く事が組織活動として非常に大事だと考えております。

2. 審議の基本的な考え方について

寄付行為、規約、および規程で決められていることは遵守します。そして、審議はあくまでも加盟団体、および、そこに所属する登録会員を主人公にしてすべきだと考えています。例えが適当であるか解りませんが、都連を一つの山に例えてみれば、山は大小幾つかの岩石等から成っております。この小さな岩石が一つでも崩れることが、その山の崩壊につながる場合があります。したがって、都連の経営は、合法的に成立しているクラブを、そして一人一人の会員を大切にしなければ崩壊に繋がる場合もあるのではないかと考えております。

3. 諸般の事項について

(1) 行事執行

過去にいろいろなことがありました。信頼を回復するためにも、前執行部が作り上げ、評議員会の承認を得た予算を尊重しながらも多少予算を融通しても事業を実行しなければと考えております。

(2) 都連と組織間の融和

都連はスキーの好きなもの同志が、スキーを楽しくやろうと言う事で集まっている組織です。最低限に規定された寄付行為、規約、そして規程を守りながら、理事会内は勿論のことクラブと、そして会員との友情ある信頼関係を作り上げ、その融和に努めたいと考えております。

(3) 調査委員会の設置について

これは評議員会に設置された委員会から理事会に対して勧告があつた件です。過去のことは引摺りたくないのは誰もが同じです。しかし、勧告と合わせて加盟団体との信頼関係を回復し、都連を正常化するには避けて通れない問題であります。

加盟団体からの負担金、協賛各社からの協賛金が使途不明あるいは紛失では組織が破壊します。

この問題は人間が掛わっており、私情を挟んでの原因究明は非常に困難です。したがって、是は是、非は非で究明をしなければなりません。

出来れば今後1年間位で結論を得、加盟団体の疑問を早く解消したいと考えております。

(4) 規約等の整備について

規約等審議委員会から第一次答申が出ました。

執行部はこれを審議しなければいけないことは勿論ですが、今後の諮問については項目を絞った方が良いのではと考えております。

(5) 各本部、各部の専門委員との関係について

理事会は決議機関でもあり執行機関でもあります。しかし、実際に現地で動いてくれるのは専門委員です。したがって、専門委員と意思の疎通を計り、行事運営をスムーズしなければと考えております。

ただここで懸念される事は執行の責任は理事会です、専門員の意に添わない問題が起るかも知れません。

この場合は、お互いの立場を尊重し話し合い理解をして頂きあるいは理解をし、解決して行かなければならないと考えます。

(6) 議事録の作成について

議事録の作成は寄付行為に規定されており当然の事です。ただ素人が作るので一字一句間違わないで言うわけにはいきません。しかし、クラブとコンタクトをとる大事な一つ的手段として最善の努力をして作成したいと考えております。

以上申し上げましたが、目新し事はありません。今後2年間で次期執行部が新しいことをやる基礎づくりをしなければと考えております。そして次ぎにくるのはマンモス都連の組織体勢の改革です。皆様のご協力を得、力を合わせて都連の伝統を守り、世界に冠たる新生都連を築き上げるために頑張る所存でございますのでよろしくご協力をお願い申し上げます。(第6回理事会における所信表明)

荣誉ある資格

おめでとうございます

本連盟がS A Jに対して推薦した、次の方々が荣誉ある資格者に公認ないし認定されました。

平成9年度名誉検定員公認 9名

(氏名)	(クラブ番号・所属団体名)
成田 隆二	(4) 東京スキー研究会
小川 和雄	(15) 三田デモンズ
八重樫末大	(55) 東京パラレルスキーソサエティ
林 権一	(155) ヌプリ
高橋イキエ	(197) ファースト石打
稲垣 彰	(258) エスプリ
井上 衛	(309) 日本エイトマン
鈴木 幹男	(357) ラ・ネージュ
坂本 勝良	(387) ニッセイ

平成9年度功労指導員認定 38名

与安 康二	(4) スキー研
岩崎昭久郎	(6) ラッセル
市川 文郎	(8) 東京ガス
石井 正一	(9) 東京スポーツマン
浦 節子	(9) 東京スポーツマン
植松千枝子	(9) 東京スポーツマン
小川 和雄	(15) 三田デモンズ
関矢 淑人	(25) 豊島区
杉山 鈴谷	(25) 豊島区
久松 茂治	(52) チロル
澤田布久松	(61) 農林水産省
浦辻 直	(61) 農林水産省
新川 和博	(73) ライネ
増永 公明	(74) エーデル
服部 肇	(74) エーデル
五十嵐栄一	(74) エーデル
柴田 繁	(79) 防衛庁
浜本 良治	(79) 防衛庁
関口 礼三	(94) ヴェーデルン
斎藤 久	(94) ヴェーデルン
矢田 秀昭	(94) ヴェーデルン
鈴木 禾甫	(134) 若葉
平野 岩雄	(140) フレッシュスキー
須貝 玲一	(142) ブランシェリイ
小高 基司	(180) フロイデ・シー
高橋 守彦	(197) ファースト石打
坂本 坦	(219) サンライズ
稲垣 彰	(258) エスプリ

鈴木 一正	(261) ポールスター
工藤 茂成	(300) シール
磯部 明	(301) スノーハーモニー
井上 衛	(309) 日本エイトマン
貝田 和孝	(309) 日本エイトマン
町中 一男	(345) スカオイ
鳥羽 芳憲	(345) スカオイ
藤田 英雄	(345) スカオイ
鈴木 幹男	(357) ラ・ネージュ
岡森 音治	(370) イーグル

平成9年度功労準指導員認定 11名

大門 信一	(61) 農林水産省
小駒 正	(74) エーデル
柳野 一郎	(74) エーデル
斉藤 茂子	(94) ヴェーデルン
馬場 和男	(165) 小平市
箭内 武	(165) 小平市
関口 祐一	(210) ギッペル
吾妻 徳司	(222) スノータンネット
森 九平	(222) スノータンネット
棚沢 源	(222) スノータンネット
山口 武	(301) スノーハーモニー

平成9年度功労パトロール認定 4名

鈴木 禾甫	(134) 若葉
平田 春雄	(210) ギッペル
春原 利久	(9) 東京スポーツマン
坂本 勝良	(387) ニッセイ

《公認・認定の要件は、次のとおりです。》

◆名誉検定員公認

- (資格) A級検定員、55歳以上
- (任期) 終身
- (免除) 検定員クリニックが免除

◆功労指導員認定

- (資格) 取得して20年以上、60歳以上
顕著な功績ある者
- (認定彰) 賞状、バッジ
- (特典) 研修会が免除

◆功労準指導員認定

- (資格) 指導員に準じて特別の功績ある者

◆功労パトロール認定

- (資格) 取得して20年以上、55歳以上
顕著な功績ある者
- (認定証) 認定証、バッジ
- (特典) パトロール研修会が免除

臨時号刊行について

井上代表の「都連の運営について」挨拶文は、第6回理事会における所信表明をS A Tだよりに再録予定のところ、引継ぎの手違いから(協賛各社への挨拶状)がNo. 39号に載り、年末あわただしく印刷所から、直接、発送になりました。

発送後、このミスに気づき、急拠、追加して臨時に新年号を刊行することにいたしました。

この件につき編集者は善意であり、総括責任者として不手際をおわびし、経緯説明とさせていただきます。
(文責 神田二男)

国際委員会登録スタッフの紹介

SATだより No. 39号で、お知らせした、登録スタッフに、次の方々に応募いただきました。応募された方、ご推薦くださった所属団体長に感謝申し上げます。

外国語別では、英語10名、フランス語1名、イタリア語1名、ドイツ語1名、ギリシャ語1名、アラビア語1名の、15名です。興味をもち、ご協力いただけるかたは、どしどしご応募願います。

(財) 東京都スキー連盟国際委員会登録者名簿

No.	氏名	性別	年齢	語	クラブ名	摘要	資格
1	神田富士香	女	40	仏	445 ガキヤマ	フランス在住経験	3 級
2	井上 道子	女	27	英	537 成城シュビンゲン	英検2級	1 級
3	逢坂 寛光	男	46	英	165 小平市	国内外通翻訳10年	準指
4	三宅 正人	男	46	英	445 ガキヤマ	国内外通翻訳5年	準指
5	加藤 敦史	男	34	英	537 成城シュビンゲン	国内通訳3年野沢インターシークショップキャンプ通訳	指・公パト
6	岡田真由子	女	29	英	295 ドンスキークラブ	米国在住5年、テキサス州立サムヒューストン大卒	1 級
7	荒木 千夏	女	24	英	222 スノータンネット	海外在住7年6ヶ月、語学必要職	1 級
8	鈴木 薫子	女	31	伊	39 スカブラ	イタリア在住2年、通訳2年、英検2級	2 級
9	矢崎 紘一	男	58	英	94 ヴェーテルン	英国3年、独2年、大学教授	準指
10	山本 尚	男	36	英	94 ヴェーテルン	英国2年、語学必要職	1 級
11	山崎 正浩	男	35	独	12 八王子	オーストリア7年	オーストリア国家検定スキー教師
12	北野 一彦	男	65	英	4 東京スキー研	教職	準指
13	岩城 忠夫	男	65	英	94 ヴェーテルン	米軍基地勤務35年	正指
14	高橋 紀子	女	62	ギリシャ	530 ヘルメス	ギリシャ在住5年半	初
15	藤森 及規	男	39	アラビア	339 アーバン	国際委員会委員	正指

編集後記

今シーズンは、雪が本当に降ってくれるのか心配しましたが、待望の雪ががどつさりと積もり、白銀の世界を私たちに見せ楽しませてくれます。

さて、39号では代表副会長の記事を間違えて載せてしまい関係各位の皆様大変ご迷惑をかけて申し訳なく思っております。今後も細心の注意をはらい、SATだよりを楽しみにしておられる皆様の期待を裏切ることなくがんばります。どうぞご支援を宜しくお願いいたします。

編集者 委員長：中嶋 淳

委員：本間毅一、土屋東明、花田知之